

講義名	観光地計画論		
担当教員	白砂 伸夫		
開講期・曜日・時限	後期集中 その他 その他	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
観光立国推進法は、地域における創意工夫を生かした主体的な取組みを尊重しつつ、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行を促進するものである。この授業ではフィールドワークを通して体験的に観光を学ぶことが主題である。すなわち既存の観光施設をリサーチすることではなく、地域の空間やものを自分の目と足で確かめ、観光的価値を発見する、いわば「宝探し」であり、それをグループワークでブラッシュアップすることで地域観光を計画しプレゼンテーションする。			
到達目標			
地域の空間として立ち現れる様々な事象の中から観光的価値を見抜く力を養い、それをレポートにまとめ上げる能力を身につける。グループワークでは、多様な意見を受け入れ、協働してまとめ上げる協調性を確立する。プレゼンテーションでは、地域の宝探しを発掘したものがいかに素晴らしいかを表現する。			
提出課題			
レポート：地域の宝物を探し、レポートとしてまとめる。グループワークでは全員の意見をPPTにまとめる。その二つのレポートを提出課題とする。			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
レポートにコメントし、フィードバックする。			
評価の基準			
レポート提出（40%）、発表（30%）、授業態度（30%）			
履修にあたっての注意・助言他			
本講義は集中講義であり、4日間で授業を完了する。観光を体験的に学ぶために学外演習を実施するので、遅刻欠席をしないこと、チームでレポート作成、発表を行うので協働して行うこと。			

教科書				
プリント資料及び参考文献				
適宜、配布する。				
授業計画				
1. ガイダンス授業の内容と進め方について説明、資料配布。 2. 観光地計画の事例紹介 3. 地域資源の発掘方法についての解説 4. ICTを活用した地図の読み方と分析 5. チームビルディング 6. フィールド調査方法の解説 7. フィールド調査、現地の注意事項 8. フィールド調査 9. フィールド調査 10. フィールド調査 11. フィールドで収集した資料の整理 12. フィールド調査の資料のまとめ 13. フィールド調査の分析 14. プレゼンテーションの資料づくり 15. プレゼンテーションと評価				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）			
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク			
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク			
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
事前にフィールド調査する場所を確認しておくこと、授業の終了後にレポートをまとめ、次の授業の準備をしておくこと、前後にそれぞれ120分の予習、復習を行うこと。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
2020年度は、入力不要				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
事前調査、レポートのまとめ、発表はICTを活用して行うこと。				
実務経験の有無及び活用				
観光計画、デザインワークの実務経験を生かし、地域を見る視点、地域の宝物の発掘の仕方及び表現方法を指導する。				
備考				